

瀧本議員（民主県政会）

平成 27 年 9 月 28 日

教育長 答 弁 実 録

（ 教 育 委 員 会 ）

（問）陸上競技場の機能分担等について

県は今年度、1億円以上をかけて、県総合グラウンドの陸上競技場を改修するが、昨年行われた利用実態調査の結果により、県総合グラウンドの果たすべき役割が明らかになったということなのか、また、改修後はどのくらいの稼働が見込めるのか、あわせて、エディオンスタジアム広島と、県総合グラウンドとのすみ分け・機能分担をどのように考えているのか、ランニングコストが気になるが、毎年、多額の維持費が必要であっても、広島市内に2つの陸上競技場が必要なのか伺う。

（答）

県総合グラウンドにつきましては、施設の老朽化などに伴い、施設全体の在り方を検討することとし、県内の陸上競技場の利用状況などの調査を行ったところでございます。

この調査におきまして、県総合グラウンドの公認を更新しなければ、現在開催している陸上競技大会のうち、一部の大会の開催が困難になることなど、県総合グラウンドの必要性が明らかとなったことから、当面は現施設を改修し引き続き活用することとして、公認の更新に必要な改修工事を行うこととしたところでございます。

この改修によりまして、これまでどおり大会が開催されるものと考えております。

県総合グラウンドと広島広域公園の陸上競技場の棲み分け・機能分担につきましては、サッカースタジアムの整備の検討が進められていることから、将来的な状況変化に適切に対応できるよう、引き続き検討してまいりたいと考えております。